

# ぼうさい通信 (第1号)

令和6年5月28日(火)

岐阜清流高等特別支援学校

保健安全部 No. 1

## ○台風やゲリラ豪雨・落雷に注意しましょう！

先週21日に沖縄・奄美地方で梅雨入りの発表がありました。今年は全国的に平年よりも遅く、東海地方は6月中旬と予想されています。ただ、梅雨入り前から曇りや雨のぐずついた天気が続く可能性があり、この先は雨が降りやすく、一度に降る雨の量も増えてくる『大雨シーズン』が近づいてきました。

昨年6月2日には梅雨前線と台風2号による大雨で、岐阜県内では公立高校の18校が臨時休校、45校が授業を途中で打ち切り下校となりました。特に東濃地域で激しい降雨が続き、県内各所で下の写真のような被害が起きました。

近年の災害は激甚化<sup>げきじんか</sup>するケースが多く、想定をはるかに超える雨量や洪水の発生、台風の進路が今までのルートと違うなど、これまでの防災の考え方では、自分達の命を守ることが危うくなっています。

災害はいつ、どこで起きるかわかりません。急な災害に対応できるように防災意識のアンテナを高く張って、常に命を守る準備と行動ができるようにしておく必要があります。



(岐阜市：通行止めになったトンネル)



(多治見市：冠水した道路)



(瑞浪市：崩落した路肩)

「写真はすべて岐阜新聞社提供」

## ○非常変災時対応訓練を終えて

5月9日(木)に、非常変災時対応訓練を行いました。今回は「大雨注意報が発令され、今後さらに雨風が強まり警報に切り替わる」という設定で、緊急放送により速やかに下校する訓練でした。

訓練の目的や意義を理解し、緊張感を持って行動することはできましたか？

例えば ① 下校途中で電線が切れて垂れ下がっていたら、どうしますか？

② 毎日の通学経路脇にある用水路が溢れて水が氾濫<sup>はんらん</sup>していたら、どうするとよいですか？

③ 突然竜巻や落雷が起こったら、どのように身体を守りますか？

今一度、非常変災時にどのような行動をとるべきかを一人一人が考えておきましょう。

【保護者の皆さまへ】

今回の訓練では、「すぐーる」によるアンケート回答率は約88%でした。昨年よりも回答率は上がりましたが、非常変災時における帰宅確認の回答率は100%でなくてはなりません。

非常変災時には電話やメールが不通になる可能性があります。こうした事態も想定し、生徒の安全確認を最優先するため、本校では電話とメールの両方で帰宅確認を行うようにしています。ご理解とご協力をお願いします。